

| | | | | | | | |
|---|-------|--------|------|------|------------|---|----------|
| 科目名 | 生命の科学 | | | | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 | | | |
| 講義 | 選択 | 2 | 1 | 前期 | | | |
| 担当者名 | 星野 晋 | 関連する資格 | | | | | |
| 授業概要 生命科学（ライフ・サイエンス）は、人間をはじめとする生き物の仕組みと「生」のいとなみ、すなわち生命現象を科学的に探求する学問である。また同時に、生命をめぐるさまざまな技術、その社会的活用の可能性と問題点を検討する総合的・学際的研究分野でもある。本講義では、生命のみならず人生、生活をも意味する「ライフ」という言葉をキーワードに、生命科学を通して、私たちの「生」とどのように向き合っていけばいいのか、また生命・ライフを扱う上でどのような課題があるのかを考える。 | | | | | | | |
| 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・生命科学（ライフ・サイエンス）がどのような分野であるかを理解する。 ・不妊治療や臓器移植など、今日話題になっている生物学的技術について理解する。 ・生物学にもとづく新技術が、近年どのような社会問題を引き起こしているかを理解する。 ・生命科学上の課題に対して、どのように解決したらいいか、自分の意見を持ち、他者に表明できるようになる。 ・私たちの Life（生命、いのち、暮らし、人生）の現在と将来について、自分なりの考えをもつ。 | | | | | | 成績評価方法 出席（欠格条件） 受講態度（10%） コメントシート（10%） 定期試験（80%） | |
| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験（中間・期末） | ○ | ○ | | | | | 70 |
| 小テスト、授業内レポート | | ○ | ○ | | | | 10 |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | ○ | | 10 |
| プレゼンテーション | | | | | | | |
| グループワーク | | | | | ○ | | 10 |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | | | | | | | |
| 授業計画と概要 | | | | | アクティブラーニング | | |
| 1) オリエンテーション：Life とは何か | | | | | コメントシート | | |

| | |
|---|--------------------|
| 2) 不妊症と生殖補助医療 | コメントシート |
| 3) 生殖補助医療の課題1：親子 | コメントシート |
| 4) 生殖補助医療の課題2：どこから人とみなすか | コメントシート |
| 5) 臓器移植をめぐる問題：グループ・ワーク | コメントシート グループワーク |
| 6) 臓器移植をめぐる問題：臓器移植法の現在 | コメントシート |
| 7) 患者の自己決定権とインフォームド・コンセント | コメントシート |
| 8) 輸血をめぐる文化摩擦 | コメントシート |
| 9) 人体解剖にみる西洋医学の考え方 | コメントシート |
| 10) 国際医療協力と文化摩擦 | コメントシート |
| 11) 病気とは何か：文化と医療 | コメントシート |
| 12) 病むことの物語 | コメントシート |
| 13) 超高齢社会を生きるために | コメントシート |
| 14) 作られた健康、創り出す健康 | コメントシート |
| 15) まとめ | コメントシート |
| 授業外学習 | |
| テレビ、新聞、ウェブ等で、あらゆるジャンルのニュースに触れ、考え、自分の意見をもつようにしてください。 | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| テキストは用いない。参考書は随時提示する。 | |
| 備考 | |
| 自分の頭で考え、意見を持ち、他者と意見交換や議論ができるようになることを目指して受講すること | |